



少年センターだより



令和3年11・12月号 (第415号)

毎月1日「少年の日」 ☆育て少年心豊かにたくましく！ 第3日曜日「家庭の日」 ☆咲かせよう明るい会話、家族の輪

11月は「ココロねっこ運動強調月間」です

毎年11月は「子ども・若者育成支援推進強調月間」であり、長崎県では「ココロねっこ運動強調月間」が実施されます。「ココロねっこ運動」とは、子どもたちの心の根っこを育てるために大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動で、今年で20周年です。この運動が始まった平成13年頃は、少年犯罪が大きな社会問題となった時期で、子どもたちの育ちに対して大人のあり方が問われた時代でした。そこで、「大人の姿が子どもの姿に反映される、大人がよい手本とならなければならない」という考えに立ち、この運動が始まりました。

今、世の中は新型コロナウイルス感染症の影響により大きく変化しています。外出自粛、三密の防止、オンライン etc...人と人との関わりが減り、子どもたちの学校生活、家庭生活にも大きく影響をもたらしています。このような時だからこそ大人がどうあるべきかを今一度考え、行動に移し、子どもたちをよりよく育てようとする姿を見せなければなりません。この11月の強調月間で「大人が変われば子どもも変わる、できることから大人から」の気持ちを高め、子どもたちのために「ココロねっこ運動」を推進していきましょう。

11月は「子供・若者育成支援推進強調月間」です

ほっとできる「居場所」がどこにもない—
そんな子供・若者が増えています。
未来を担う子供・若者たちのために、何ができるか
考え、行動に移してみませんか？

「どこにも居場所がない」とする子供・若者の割合



内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

「ココロねっこパレード in おおむら」の中止について

毎年11月に開催していましたが「ココロねっこパレード in おおむら」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止となりました。そこで、少年センターでは「ココロねっこ運動」の周知・啓発のためにリーフレットを作成し、保護者・地域・関係団体等に配付します。

また、子どもの非行・被害防止のために市内14地区の定期巡回補導を強化し、「子ども110番の家」の周知にも力を入れていきます。

自転車のマナーアップを！

少年センターは、大村市自転車マナーアップ推進協議会の事務局として様々な業務を行っています。9月の「秋の全国交通安全運動」期間には、児童生徒の登校時間に広報車で市内を巡回し、自転車マナーの向上を呼びかけました。



大村市は自転車通学・通勤が多く、自転車に関わる事故や盗難の被害が課題となっています。今回の巡回では、中高生の並列走行、右側走行、交差点での飛び出しなどで注意する場面がありました。

最近ではスマホを操作しながら運転する人の姿も見られ大変危険です。自転車乗車の際はルールを守り安全運転を心掛けてほしいと思います。また、駐輪の際の施錠（二重ロック）もお願いします。

令和3年度上半期 市内の補導状況

大村市少年補導委員による4～9月の定期巡回補導では、新型コロナウイルス感染防止のために補導活動を中止した時期がありましたが、実施した期間中、飲酒・喫煙等の非行問題の報告はありませんでした。今後も子どもたちの健全育成のために補導活動を進めていきます。下の表は上半期の主な指導内容です。

指導内容	人数	指導内容	人数	指導内容	人数
自転車マナー指導	48人	外出時間注意	9人	買い食い	6人
ゲームセンターでの声かけ	59人	男女交際	4人	愛の声かけ（下校時等）	161人

＜ 連載コラム ＞

信じられないような「悲しく痛ましい事件」が、日々、起きています。

「助けることができなかつたのか?」「どうしてこのようなことが?」…。

私たちは、人として、子どもの成長に関わる大人として、痛ましく、何とも言えない、歯がゆく悔しい思いでいっぱいです。

どうしてこんな世の中になってしまったのでしょうか?人ひとりの価値が軽くなってしまったのでしょうか?そうではないはずです。私たち大人の責任において絶対にそんな世の中にしてはいけません。

数年前の話です。

校舎の端にある花壇に、いくつかの花に混じって、「折り紙でつくった一輪の花」が他の花と共に（さりげなく）花壇を賑わわせていました。きっと、子どもがその場に植えた（立てた）のでしょう。その時の情景を思い浮かべ、なんとなく心が温かくなりました。数日して、その花壇の前に立つと、もうその花はありませんでした。しかし、またしばらくすると、郵便受けの上に、そっと?おいてありました。誰がそうしたのでしょうか?捨てずに置いてあったのです。

私たちは、日々、自分たちで決めたスケジュールやその時々用の務のため、なんとなくあわただしく過ごしているのが常になっています。温かい気持ちばかりの毎日ではなく、落ち着かなかつたり、暗くなつたりする時もあります。でも、「温かい心」や「優しい心」がたくさん集まると、きっとその場も温かく優しくなっていくであろうことを知っています。

「私たちの心」のその時々あり様は、「私たちの心の中」にあるのです。そして、子どもたちの「心の根っこ」は、私たち大人の心が培っているであろう「その後ろ姿」が育てていることを、どんな時にも心に留めておきたいものです。

＜ ひびK・I ＞



青少年に関する相談は少年センター（月～金 8:30～17:15）へ

☆相談電話(ヤングテレフォン)0957-49-5263

☆ Eメール相談 : kiitekudasai@city.omura.nagasaki.jp